

令和7年度 学校評価自己評価表

東広島市立平岩小学校

学校教育目標	「かしこく やさしく つよく」生きる子どもの育成				経営理念	「平岩小学校で学んでよかったと思える学校の創造」					
--------	--------------------------	--	--	--	------	--------------------------	--	--	--	--	--

評価計画						自己評価					学校関係者評価		改善方策	
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目・指標	目標値	達成値		達成度	評価	結果と課題の分析	評価	コメント	改善方策
							10月	1月						
知「かしこく」	1	主体的に考え、表現する子ども	主体的・対話的で深い学びを創る授業実践の充実	○「個別の課題追究」と「学び合い」を工夫した単元構成 ○社会科・国語科における問いを重視した授業実践	・まとめ、振り返りの評価 ○児童アンケート(肯定的評価) ・進んで学習している ・一斉授業(「学び合い」)では、新しい発見があったり、自分の考えが深まったりして、学習がよくわかる	B評価以上の児童 80%以上								
			基礎・基本の定着	○学習ソフト(ミライシード)等を活用した学習内容の定着 ○家庭学習の習慣化(4学年以上の家庭学習の計画と実施) ○平岩ゼミ(学力補充)の実施 ○読書活動の推進	単元テスト(国語・算数)における各学年目標(低学年85点以上、中学年、高学年80点以上)を各学級の児童8割以上にする	全学級の80%以上								
徳「やさしく」	2	人の気持ちがかかる子ども	人に対する言葉遣いを磨く取組の充実	○生活委員会による「あったか言葉」取組の実施 ○生活委員会・保護者・地域によるあいさつ運動の推進	○児童アンケート(肯定的評価) ・人の気持ちを考えて、行動(話す)している ・あいさつをしている ○保護者アンケート(肯定的評価) ・学校は、様々な教育活動を通じて、人の気持ちを考えて行動できる子どもを育てるように努めている。 ・わが子は友だちや地域の人にあいさつをしている	80%以上								
			支持的風土のある学級づくりの推進	○人間関係づくりや相互理解を深めるためSST、構成的グループエンカウンター等の計画的な実施 ○身の回りの整理・整頓の取組(筆箱・机の中・ロッカー・はきもの)	・学級活動年間計画に基づくSST、構成的グループエンカウンター等の実施100%	100%以上								
体「つよく」	3	最後までやりぬく子ども	運動に対する意欲の向上	○体育科において「体づくり運動」や「基本的な動き」を取り入れた授業づくり ○「平岩マラソン」や「なわとび」(体育朝会等)の期間集中での実施	○児童アンケート(肯定的評価) ・運動(体を動かすこと)が好き ・学校がある日は運動(体を動かすこと)をしている	80%以上								
			基本的な生活習慣の確立	○生活習慣を整える(メディアに対する意識の啓発)	・「メディア週間(仮称)」の取組を年2回以上実施	2回以上								
		○食に対する意識の向上(食育授業の実施)		・栄養教諭による食育の授業を全学年で実施	100%実施									
信頼される学校	4	信頼される学校づくりと学び合える教職員	家庭・地域との連携	○日常の教育活動における連携や学校だよりなどのお便り、HP等における情報発信	○保護者アンケート(肯定的評価) ・子どもたちの学習や生活の様子を分かりやすく伝えている ・保護者からの連絡や相談に適切に対応している	85%以上								
			効率的な業務の推進と子どもと向き合う時間の確保	○組織的な報告・連絡・相談体制の充実 ○企画委員会、学年主任会における計画的な提案 ○時間外勤務の縮減を意識し見直しをもった働き方	○教職員アンケート(肯定的評価) ・互いに学び合い、協力し合っていると感じる教職員 ・児童一人一人と向き合うことができている教職員	85%以上								

【自己評価 評価】

A:100≦(目標達成)
B:80≦(ほぼ達成)<100
C:60≦(もう少し)<80
D:(できていない)<60

【達成度】

達成値／目標値×100
例:(達成値90／目標値80)×100
=112.5 となり
評価は A とする。

【学校関係者評価 評価】

3:自己評価は適正である。
2:自己評価は適正でない。
1:分らない。